

「思考の構造」のレビュー(The Stuff of Thought) by Steven Pinker (2008)

(2019年改訂レビュー)

Michael Starks

抽象

私は哲学者(心理学者)ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインの有名なコメントから始めますが、ピンカーはほとんどの人と共有しています(進化した先天心理学のデフォルト設定のために)心の機能に関する特定の偏見、そしてウィトゲンシュタインは言語、思想、現実の働きに対するユニークで深遠な洞察を提供しています(彼は多かれ少なかれ同じ範囲と見なされています)。reはre、彼が言語の最も華麗で元のアナリストだったことを考えると最も残念であるこの巻のヴィトゲンシュタインへの言及だけです。

最後の章では、プラトンの洞窟の有名な比喻を使用して、彼は美しく心(言語、思考、意図的心理学)の概要と本を要約します - 盲目の利己主義の産物は、私たちの遺伝子のコピーを運ぶ近親者のための自動利他主義によってわずかにモデレートされます(包括的なフィットネス)-自動的に動作しますが、それにもかかわらず、私たちがその広大な能力を利用して世界を生きるために私たちに大きな能力を採用できることを願って、アップビートノートで終わらせようとしています。

ピンカーは確かに認識していますが、私たちの心理学についてはるかに多くが含まれているよりも取り残されているという事実についてはほとんど言いません。取り残されたり、最小限の注意を払われたりする人間性への窓の中には、数学と幾何学、音楽と音、画像、出来事、因果関係、オントロジー(物事のクラスまたは私たちが知っていること)、認識論(私たちが知っている方法)、性質(信じる、思考、判断、意図など)と行動の意図的な心理学の残りの部分、神経伝達物質およびエンテオゲン、精神的な状態(例えば、サトリと啓蒙、脳刺激と記録、脳損傷および行動の赤字と障害、ゲームとスポーツ、決定理論(ゲーム理論と行動経済学を含む)、動物行動(非常に言語が、共有遺伝学の10億年)。これらの各分野の意図的心理学について、多くの本が書かれています。この本のデータは説明であり、なぜ私たちの脳がこのようにそれを行うのか、どのように行われるのかを示す説明ではありません。文章をさまざまな方法で使用する方法(つまり、すべての意味を知っている)をどのように知っていますか?これは、ヴィトゲンシュタインが最も活発なレベルである、より基本的なレベルで動作する進化心理学です。そして、言葉がthe 使われる文脈=ヴィトゲンシュタインが開拓したアリーナに注目が集まっています。

それにもかかわらず、これは古典的な作品であり、これらの注意を払って、まだ読む価値があります。

現代の2つのシス・エムスの見解から人間の行動のための包括的な最新の枠組みを望む人は、私の著書「ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サールの第2回(2019)における哲学、心理学、ミンと言語の論理的構造」を参照することができます。私の著作の多くにご興味がある人は、運命の惑星における「話す猿--哲学、心理学、科学、宗教、政治—記事とレビュー2006-2019 第3回(2019)」と21世紀4日(2019年)の自殺ユートピア妄想st Century 4th ed (2019)などを見ることができます。

「神がわたしたちの心を見てください、わたしたちが誰を考えていたのか見ることができないでしょう。ヴィトゲンシュタイン PI p217

「無限という言葉は数学では避けるべきか?はい:それは微積分に意味を与えるように見える場所。むしろ、そこから1つを得るのです。RFM改訂版(1978) p141

「何度も何度も言語を使って世界を制限し、それを安心させようと試みられるが、それはできない。世界の自己証拠は、言語がそれを指すことができるという事実から自らを表しています。言語は、その意味を世界から意味する方法だけを導き出すだけなので、この世界を表さない言語は考えられません。ヴィトゲンシュタイン 哲学的発言 S47

「私の言語の限界は、私の世界の限界を意味する」 TLP

私は哲学者(心理学者)ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタイン(W)によるこれらの有名なコメントから始めますが、ピンカーはほとんどの人と共有しています(進化した先天心理学のデフォルト設定のために)心の機能に関する特定の偏見と、ウィトゲンシュタインは言語、思想、現実の働きに対するユニークで深遠な洞察を提供しています(最後の引

用は、ピンカーがこの巻でウィトゲンシュタインに行く唯一の参照であり、彼が言語の最も華麗で独創的なアナリストだったことを考えると最も残念です。

もう一つの有名なウィトゲンシュタインの独裁者は「何も隠されていない」です。彼の仕事に十分に浸透すれば、私たちの心理学は常に私たちの目の前にあり、科学的な仕事の量がそれを明確にするつもりはないということです(実際には、ますますあいまいになる)、これが何を意味するのかを非常に明確にしていると思います。これは反合理的でも反科学的でもありませんが、サッカーの試合がフィールドに出ているという事実として彼が見ているものを述べているだけで、選手のモチベーション、不安、ストレス、失望、そしてプレーに必要な努力とボールが蹴られたときの動きをよく理解しています。スポーツ生理学、解剖学、生物エネルギー、物理学の数学と化学で巨大な進歩がなされています。ボールが空気を通してどのように動き、筋肉が骨を動かす力を加えるかについて、方程式に満ちた本全体が書かれています。筋肉の動きが皮質の一部でどのように発生するかについては、他の人の脳にミラーリングされます。動機、人格、脳機能、モデリングに関する文学の山。これは私たちにサッカーの試合に対するこれ以上の洞察を与えたか、私たちの戦略やプレーや観戦の経験を変えましたか？

意図的性(合理性)は、動物が取り組まなければならなかったツール(遺伝子)から断片的に進化してきたので、パラドックスと錯覚でいっぱいです。砂漠のミラージュを見たり、そこにはない文章に言葉を読んだり、画面上のアニメーションのプロップが他の人を動かして「助ける」または「妨げる」のを見るように、私たちは頭を考へ、信じ、経験的事実(数学と幾何学に関する経験的事実など)と私たちの生来の心理的な軸を混同するのを見ます、むしろ発明する)。

微分方程式、MRIスキャナ、粒子コライダーの使用から得られる結果に「現実」という概念と言葉を適用するには、リンゴ、岩石、雷雨よりも大きな程度に、これらの最近の発見が何億年もの間自然選択に同じ役割を果たしている必要があります。私たちの遠く離れた(無脊椎動物)の祖先が世界の光景や音に有益な反応を始め、最終的に言語化された概念(思考)を形成できる脳をゆっくりと作り出すことを可能にする遺伝子を選択したのは昔よりも生存上の利点だけです。科学と文化は、私たちの古代の意図的な心理学を置き換えたり優先したりすることはできませんが、それをわずかに拡張または補完するだけです。しかし、哲学(または言語学を行う)とき、私たちは文脈が欠落していると誤解され、私たちの心理学は自動的に原因と究極または最低レベルの説明のためにすべての状況を解剖し、それを防ぐために私たちの言語ルールには何もないので、それをグロス高レベルに置き換えます。私たちが考えていないと言うのは自然に來ます - 物理学は彼らが分子で作られていると言うので、私たちの脳とテーブルは固体ではありません。しかし、Wは、私たちの概念、そして思考、信念、その他の性質の概念は、脳内のプロセスではなく、公共の行動であり、どのような意味で分子が固体であることを思い出させました。したがって、私は行動の研究の進歩を進める前に明確にしなければならない最も基本的なアイデアの一つとしてそれを見ているので、繰り返し負担する上記の引用。

「何度も何度も言語を使って世界を制限し、それを安心させようと試みられるが、それはできない。世界の自己証拠は、言語がそれを指すことができるという事実から自らを表しています。言語は、その意味を世界から意味する方法だけを導き出すだけなので、この世界を表さない言語は考えられません。

Wの執筆の多くは、すべての動物行動の成功に不可欠な常識的な知識の例であり、概して行動科学だけでなく、それなしでは成功できないAIでさえ、それを把握して実装することはできませんでした。マービンミンスキーは、AIの父の1人でさえ(2003年のボストン大学のスピーチで)、「AIは70年代から頭脳死しており」、常識的な推論に欠けていると述べました。しかし、彼の最近の著書「The Emotion Machine」(エモーションマシン)は、Wが75年前に行った仕事をまだ認識しておらず、これは、文脈(意図)の観点を意識せず、それなしではマインド(言語)を理解することを期待できないことを意味します。動作します。

行動(すなわち、思考や言語や行動)について話すとき、文脈の無限の微妙さを無視して、単語や文章の意味をそれに付随していると考えるのは、ほぼ普遍的な間違いです。もちろん、議論が難しく、不可能になるため、文脈に関するすべてを含めることはできませんが、辞書のエントリによって完全に与えることができるものとしての意味と複雑な使用の家族のための略語としての意味との間には大きな違いがあります。クラインの古典的な本「言語の時間」(ピンカーが引用していない)でさえ、「時間」をゆるやかに結びつけた用途の家族とみなしていますが、もちろん彼もW、サール、または意図的な意識を持っていません。

これに言及するポイントは、ピンカーは、ほとんどの現代の科学者の還元的バイアスを共有し、これはほとんどの読者に明らかではない方法で行動に彼のアプローチを着色することです。彼のデータが魅力的で、彼の文章のよう

に巧みであるように、それは微妙に私たちの心理学の間違った絵だと思ふもの、つまり進化した心理学の生来の偏見による見解に微妙に私たちを導き、したがって普遍的な失敗です。

ピンカーは心理学のリチャード・ドーキンスであり、現代における科学の主要な普及者の一人です。おそらく、後期と最も嘆かわしくない(彼は彼の種の私たちの推論、ネオマルクス主義と空白のスレート主義で何百万人を誤解した自己奉仕エゴマニアだった)ステファン・グールドは、ポップ・ラー・サイ・エンスのより多くのボリュームを販売しました。彼の前の著書「ブランクスレート」を21世紀の最も重要な本のための古典的でトップの選択肢にしたのは、人間性が文化的に生成されるという普遍的な妄想(グールドの多くの妄想の一つ)に対するピンカーの巧みな反論でした。ちなみに、ピンカーやドーキンスの一部を含むグールドのプットダウンはたくさんあります(「彼は風車で自分の個人的な芸術形式に傾いています」)、私は10年ほど前のジャーナル「エボリューション」のグールドトームのドーキンスレビューからそれを思い出しますが、私は最高のことが最高だと思います。これらの作品はすべて、動物の行動、進化心理学、そしてもちろん「思考のもの」の主題によって密接に結びついています。

慣例に従って、Pインカーはパットナムの有名な、しかしひどく欠陥のある双子の地球思考実験(哲学の奇妙な思考は本質的にヴィトゲンシュタインによって発明された)について議論し、意味が頭の中にあることを示していると主張し、しかし、意味、意図、思考、信念、判断などの意味、意図、思考、信念、判断など、すべての性質や傾向(哲学者が一般的に命題の態度の間違った名前ですそれらと呼ばれ出す、彼が呼んだように)は、30年代のW、すなわち40年前でした。彼らはサッカーの試合が頭の中にあることができないのと同じ理由で頭の中にあることはできません。その後、パットナムはヴィトゲンシュタインを真剣に受け止め始め、それに応じて曲を変えました。

彼は行動オートマティSMSに関する大規模で魅力的な文献にほとんど言及していない(すなわち、私たちの行動の大部分! 「人々との実験(2004)またはバークの『社会心理学と無意識』(2007年)は、シャーマン・イータ・アル(2014年)による「社会的心の二重プロセス理論」と the暗黙の認知に関する広大で急速に拡大する文学を示しています。老人の写真や読書の話を見せた人は、若者などを与える時よりも遅く建物から出て行く傾向がありますn。よく知られているプラセボ効果は、情報が意識的に入力される変種であり、例えば、2008年の調査では、2008年の調査では、2.50ドルの砂糖錠剤を得ていると思っていたボランティアの85%が、61%の対照群と比較して、服用後の痛みが少ないと述べた。価格情報が画像、テキストまたは音を介して入力された場合、このような効果は昇華的に誘導することができます。おそらく、同じことが私たちの選択のほとんどにも当てはまります。

これは、この本に関する私の主要な不満の一つをもたらします - それは彼らの使用ではなく、言葉の「意味」に対するモノマニア的な強迫観念です - 彼の講義と1930年代に始まった約20冊の本でWによって有名になった区別。行動(または自然の残りの部分)を説明するのではなく、それを説明するというWの主張のように、これは無意味な口論のように思えるかもしれませんが、いつものように、私はWが正しかったことを長年にわたってこれらの問題を振り返った。彼は、ほとんどの場合、単語の意味(文章を言う方がはるかに良い)は言語で使用される式であり、これは特定の文脈での一般の使用が、ある人から別の人に情報を伝えることを意味すると述べた(時には別の高い哺乳類に - 犬は私たちの意図的な心理学の大部分を共有する)。私は、以前の本の中で、ピンカーは、犬が「おそらく明日雨が降るだろう」とは思えないと指摘したので、動物が意識を持っていることを否定したとWを非難したのですが、Wのポイントは、私たちが言葉なしでは持つことができない多くの考えがあり、明日何かを期待していることを示すテストを持っていないという例外的なものでした。雨の前日に傘を使って必ずクローゼットから出たとしても、これを精神状態に接続する方法はありません。これは、私用言語の不可能の彼の有名なデモンストレーションと、処分が頭の中にあることを示しています。Wは、公開テストがないことは、犬やミュートでさえ、彼らが何を考えているのかを知ることができないことを意味し、また、処分は公共の行為であり、その行為は私たち自身にとっても、私たちが考えたことの基準であるので、私たちも知ることができないことを示しました。これは上記の引用のポイントです - 神も神経生理学者も私たちの脳内の思考、信念、イメージ、希望を見ることができませんが、これらは私たちが経験する曖昧でつかの間のエピフェノムであり、脳研究によって検出可能な相関も、これらの行為を記述する文章の文脈の使用と同じ方法で私たちの生活の中で機能しないためです。そして、動物の意識に関して、Wは、霊長類の行動に根本的な多くの遺伝子やプロセスが、少なくとも数十億年前に線虫(すなわちC.elegans)の早い時期に始まったことを示す、現代の遺伝学によって驚くほど、ますます支持されている、ハエの中でも意図的心理学が足がかりを得ることを指摘した。

意図的な心理学または意図的性(非常に大まかに私たちの人格や合理性または高次思考(HOT)は、(ほとんどが知られていない)ウィトゲンシュタインによって現代の製剤を与えられた非常に古い哲学的概念であり、彼のナクラスの20,000ページで、現在は主に約20冊の本といくつかのCDROMで翻訳され、出版され、人間の行動の近代的な研究のための基礎を築きました。悲しいことに、彼は主に彼の人生の最後の30年間出版しなかったリクルートだった、本当に彼の後の作品の何かを書き終えたことがなく、様々なエピソード、電信と呼ばれたスタイルで行動に関する彼

の華麗で非常に独創的なコメントを書いた、口頭、ソクラテス、あいまいなど、そして50年以上にわたって死後に出版された(1953年の有名な哲学調査(PI)と最後ではなく最新のものでした!)— 2005年のビッグタイプスクリプトは、最近、彼がすべての時間のトップ5哲学者の一人に選ばれましたが、哲学的調査は20世紀の最も重要な哲学書の1つに選ばれましたが、哲学的調査は20世紀の最も重要な哲学本の1つに選ばれました。私がよく得る感覚は、私たちの心理学は、ウィトゲンシュタインがスキューバギアと懐中電灯で割れ目を探索する20メートル下にある間、ほとんどの人がバンブを賞賛する表面上シュノーケリングをしているサンゴ礁です。

ウィトゲンシュタインの文学執行者は息苦しい学者であり、彼の本は主に堅苦しい学術的タイトルを持つブラックウェルから発行され、進化心理学の現代研究の主要な基盤として見る事ができるという説明は一切ありません。人格、合理性、言語、意識、政治、神学、文学、人類学、社会学、法律など、実際に私たちが言うこと、考える、そして、彼が示したように、それは私たちが犬と大きく共有する進化した心理学の生来の公理性に依存し、ハエガンやC.エレガンスでさえある程度依存しています。彼の作品が「心の仕組み」「言語本能」「思考のもの」などのタイトルを持つ人気プレスによって派手なカバーを提示されていたら、20世紀の知的風景の多くは異なっていたかもしれません。しかし、彼は少なくとも200冊の本と10,000冊の論文の主要な主題であり、私がここ数年読んだ何百もの記事と数十冊の本に基づいて、数え切れないほどの数千冊(ピンカーの心の仕組みを含む)で議論されていますが、私はこの作品と私の他のレビューで実際に彼の作品の重要性を把握している人は十数人少ないと言うでしょう。しかし、Coliva、DMSなどの最近の出版物、そしておそらく私の出版物はこれを変えるべきです。

ウィトゲンシュタイン、サール、および現代の2つのシステムビューからの行動の分析の包括的な最新の説明を望む人は、私の記事ウィトゲンシュタインとサール2nd edで明らかにされた哲学、心理学、心と言語の論理的構造を参照することができます(2019)。

このすべての結果(ある哲学者が「ウィトゲンシュタインに関する集団健忘」と呼んだもの)の1つは、ピンカーを含む言語の学生が、インプリケーション(単なる意味の派手な言葉のように見える)などのグライスの概念を取り入れ、最近では、関連性理論は、「言葉と意味の関係」の枠組みとして(もちろん、Wはこのフレーズで彼の墓に入るだろう、彼の意味に従えば、どのように彼らの使用から分離することができるので、数式を使用するだろうか?しかし、彼らはWによって記述され、サールや他の人によって改訂され、拡大されたように、私には意図的な代用品のように見えます。いずれにせよ、グライスは通常のソフォリスティックな学者であり、スパーバー(関連性理論のリーダー)は許容可能であり、ピンカー魅力的で、しばしばエレガントで痛烈なサール(esp. """"を参照してください)は、明確で厳格で、非常に独創的ですが(Wにとって非常に大きな負債だと思いますが、ベストセラーリストには学術的すぎると思いますが、ウィトゲンシュタインは、彼が心の仕組みを説明する自然なマスター心理学者であることを把握すると、非常に要求が厳しいですが、鮮やかにオリジナルで、しばしば息をのむ)。ピンカーは、ウィトゲンシュタインが電報を書いている間に巧みな散文を書きますが、しばしば感動的で詩的なものがあり、いくつかの機会に、彼は美しいエッセイを書きました。ピンカーは、いくつかの金、鉄の多くといくつかのドロスのために採掘することができますが、Wは主に金、少し鉄、ほとんどドロスの斑点ではありません。ピンカーは主に他の人の作品を要約していますが(非の打ちどころのないスタイルですが)、Wはとても独創的で奇妙なもので、ほとんどの人の頭の上にあります。私はピンカー、サール、ウィトゲンシュタインを交互に、または同時にスパーバー、グライス、そして時々数百人のダッシュで読むことをお勧めします。

Wは、問題は答えを見つけることではなく、答えとして常に私たちの前であることを認識する必要があると言いました。つまり、私たちの言語は、実際または潜在的な出来事(吠え、話し、書き込みなどのエージェントによる行動を含む)に関する私たちの考えであり、その意味は、ピンカーと数千人のキャストに反し(thought)-、何も隠されていません(すなわち、言語は-

多くの四半期の無知は非常に完全なので、ウィトゲンシュタイン(数字、言語、人間の心)によって事実上作成されたトピックに関するWieseの素晴らしい最近の358ページの本でさえ、彼への参照は一つもありません!

Wは主に、もともと彼の著書「フィロソフィカ調査」のモットーとして「私はあなたに違いを教えます!」という引用を使用したかった「同じ」単語(すなわち、スプリッター)の異なる用途を強調しています。つまり、文章(言語ゲーム)の異なる用途を記述し、思考実験でゲームを変更することによって、私たちはこれらのゲームが人生で果たすさまざまな役割を思い出させ、心理学の限界を見ています。しかし、ピンカーは、再び私たちの進化したモジュールの魅力的なデフォルトと他の何千もの悪質な例に従って、しばしばこれらの違いをぼかすルンパーです。例えば、彼は(使い方の家族全員ではなく)単一のものであるかのように「現実」について繰り返し話します。彼はまた、私たちの経験(すなわち、古典的な理想主義者/現実主義者の混乱)とは別のものとして現実について話します。

しかし、現実のためにどのようなテストがありますか?彼は(私たち全員がそうであるように)より高いレベルの還元的な置換に非常に簡単に滑り込むので、私たちは皆、誰もが脳機能のアイデアを持つずっと前に進化したので、私たちの言語(思考)が記述できない脳内のプロセスに対する思考(すなわち、行動)を却下する傾向があります。ピンカーは、あなたが本当にこのページを読んでいないと想像する場合(例えば、あなたのretinaはインク分子などから跳ね返る光子で打たれています)、私は彼が言語、思考、現実の問題をさらに熟考する必要があることを丁寧に示唆し、私はヴィトゲンシュタインに浸るよりもこの有毒なミームに対するより良い解毒剤を知りません。

ウィトゲンシュタインを振り返ると、ケンブリッジ哲学教授のC.D.ブロード(彼を理解も好きにもしていなかった)に起因するコメントを思い出させ、「ヴィトゲンシュタインに哲学の椅子を提供しない」というようなことを実行したのは、アインシュタインに物理学の椅子を提供しないようなものです。私はヴィトゲンシュタインを直感的な心理学のアインシュタインと考えています。10年後に生まれたが、彼は同様にほぼ同時に、世界の同じ部分で現実の性質についてのアイデアを孵化させ、アインシュタインのようにほぼWW1で死んだ。今、アインシュタインは、混乱し、しばしば間違っていたが、世界的に有名になった彼のアイデアの1つの初期のバージョンを公開した困難な人格を持つ自殺同性愛者の隠れ家だったとします。彼の考えを完全に変えたが、次の30年間は何も出版しなかったし、ほとんど文字化けした形で彼の新しい作品の知識は、時折の講義や学生のノートからゆっくりと拡散しました。彼は1951年にドイツ語で主に手書きの落書きの20,000ページ以上を残して死亡し、しばしば、前後の文章との明確な関係を持たない文章や短い段落で構成されています。これらは、多くの文章が複数の変種を持つように、余白、下線、および単語を横断して何年も前に書かれた他のノートブックからカットされ、貼り付けられたことを。彼の文学幹部は、この難消化性の塊を粉々に切り取り、彼らが望むものを残し、宇宙の仕組みについての全く斬新な見解を伝えていた文章の正しい意味を捉え、その後、彼らはそれが何であるかについて本当の説明を含まない前置きで苦渋の遅さでこの資料を出版しました。彼は、以前の物理学はすべて間違いでありナンセンスであり、それを議論する何百もの本と何万もの論文にもかかわらず、事実上誰も彼の仕事を理解していないという多くの声明のために有名になった。多くの物理学者は、彼が非常に抽象的で凝縮された形で述べたニュートン物理学の決定的な合計をした彼の初期の作品だけを知っていたので、何が言われているのかを決めることは不可能でした。彼はその後事実上忘れられ、世界の性質と現代物理学の多様なトピックに関するほとんどの本や記事は、彼への言及を通過し、通常は誤った言及しかなく、多くの人が彼を完全に省略した。彼の死後半世紀のこの日まで、彼がしたことの意味的な結果を本当に把握した人はほんの一握りでした。これはまさにヴィトゲンシュタインの状況だと私は主張します。

私たちの進化した心理学が私たちの遺伝的およびエネルギー資源と互換性のある最大の範囲に世界に一致するように選択されたことは明らかです、そして、それは私たちが現実について言うことができるすべてです、そして、私たちはすべてこれを理解します(私たちはそれを生きる)が、私たちがそれについて考えるのをやめると、私たちの普遍的な心理学のデフォルトが引き継がれ、私たちは「現実」の言葉(概念)を使い始めます。「アスペクト」、「時間」、「空間」、「可能」など、彼らが進化した意図的な文脈から。次の宝石は生物学者から来ています(私はシェトルワースの素晴らしいが無視された本認知、進化と行動からそれを取ります)。

心理学の役割は、その物理的な外部宇宙の特定の側面に合わせて進化した異なる生物の心の生来の特徴と、宇宙が心と相互作用して驚異的な世界を生み出す方法を説明することです。オキーフとナデル「認知地図としての海馬」

このように考えてみると、辞書で単語を調べることができますが、イベントの前後に表示されるビデオとそれに関するすべての関連事実がない限り、そこで使用を調べることはできません。辞書は死体でいっぱいの子供の遺体安置所のようなものですが、生理学を勉強したいのです。ここに「バラ」があり、ここに「走る」とここに「中」とここに「ある」と欠けているのは人生です。写真を追加すると、少し良いです:ビデオを追加し、より良い多く:長い3Dカラーは、音と匂いでビデオを雇い、それがそこに着いています。

ウィトゲンシュタインの公共心理学の説明の一部には、私の心の感覚やイメージが私にとっても認識的な重みを持たない方法の多くの詳細な例が含まれていました。リンゴを食べているのはどうやって分かるの?私の好みやビジョンが間違っているかもしれないし、どのように決定する?しかし、私はそれをabを話すか、それを書き留め、あなたは「それはおいしい見た目のリンゴです」などと言う場合。私は客観的なテストを持っています。正しいと間違っ

てここに足がかりを得る。

Wはゲーテからの引用をPIのモットーとして使うつもりでした--「最初は行為でした。つまり、進化的には、それは知覚と行動、そしてそれらの思い出、そしてそれらについての考え、そして思考を声に出す言葉でした。だから、このイベントはオーストラロピテクスが考えたことであり、彼らに代わる音響爆風を作ることができる自然選択は、私たちのボイカル装置と適切な制御回路を素晴らしいペースで変更するのに十分強かったので、初期のネアンデ

ルタール時間までに彼らは青い筋を話していて、それ以来数分以上心や口を閉ざしていません。Wは、コミュニケーションの基礎としての行動の優位性と私たちの考え、感情の無関係を理解していましたが、彼はしばしば行動主義者(すなわち、デネット、ホフスタッター、B.F.スキナースタイルは私たちの精神生活、心、意識などの現実を否定する)と呼ばれていますが、これは特許的にばかげている。

byプラトンの洞窟の壁の影の有名な描写と、実際に言語を使っている人々を見るために振り向いたという記述を思い出します。いずれにせよ、言葉を使う場合を注意深く考えると、私たちの意図的な心理学の多くが遊びに呼ばれていることがわかります。

EEL2(エルゼビア言語学百科事典-2nd-12,353p-はい、14ボルトの12,000 pagesとわずか6000ドル)の記事でウィトゲンシュタインの無知を見ることができます。

不思議なことに、ピンカーはそれに単一の参照を持っていませんが、あなたはピンカー、サール、ウィトゲンシュタインとネット上で無料の他の何千人ものほとんどすべてと一緒に、それを見つけることができます。

たとえば、AIの基本的な必要性を理解するには、ミンスキーの「エモーションマシン」よりもWのRFMを読む方がはるかに興味深いことがわかります。ピンカーは、ブラウンの有名な人間の行動の何百もの普遍的なリストを参照しましたが、これらはほとんどすべて、宗教の所有、互恵的な利他主義などの総体的な高レベルの行動であり、これらの根底にある他の何百もの普遍を省略しています。ウィトゲンシュタインは、より根本的なものの多くを指摘した最初で、場合によっては今日まで唯一のものでした。しかし、彼は彼が何をしていたのかあなたに言わなかったし、他の誰も持っていないので、あなたはそれをあなた自身のために困惑させる必要があります。ほとんどの人は最初に彼の哲学的調査を最初に(そしてしばしば他には何も)読みますが、私は数学の基礎に関する彼の発言または数学の基礎に関する彼の講義でより厳密に数学的な例を好みます。彼が私たちのすべての推論の根底にある私たちの進化心理学の普遍的な公理を説明していることを理解して読んだ場合、彼の作品は完璧に理解でき、その工夫に息をのむほどです。

ピンカーは、バーベキューソースの例で心がどのように動作するかを示しています。もちろん、私たちの主観的確率を示す他の無限の数があります(しばしばベイズ推論と呼ばれますが、彼はこれを言及していません)。私のお気に入りには終末(例えば、ボストラムの本やウェブページを参照)、眠れる森の美女とニューカムの問題です。明確な解決策を持っているバーベキューとは異なり、他の多くは(あなたの視点に応じて)1つ、何もまたは多くを持っています。私たちは、彼らが私たちの合理性(ウィトゲンシュタインの主要なテーマ)または(少なくとも20年代のデ・フィネッティの仕事以来知っているもの)にすべての確率が主観的であることを示すギャップや限界を示しているため、これらを興味深いものと見なすかもしれません。または有名な嘘つきのパラドックスやゴデルの定理のように(ホフスタッターの「私は奇妙なループであり、ヤノフスキーの「思考の限界を超えて」の私のレビューを参照してください)、私たちの霊長類の心の限界の些細なデモンストレーションとして、ピンカーはこの問題を拡大したり、決定理論、ゲーム理論、行動経済学、ベイソスなどに関する膨大な文献にいくつかのヒントを与えません。

EEL2はあまりにも多くのギラギラしたエラーを避けるWに関する合格の短い記事を持っていますが、本当に理解されれば、本の中で最も長いものになる重要さのほとんどすべてを完全に見過して見逃しています。ほぼ全体がTractatusで無駄になり、誰もが彼が後で完全に拒絶したことを知っており、非常に混乱し、混乱しています。彼の後の哲学にはほとんど何も、今ではネットを介して自由に普及しつつあるすべてのW学者(および人間の行動に興味を持っている人)の出発点となっている2つの検索可能なCDROMについての言葉ではありません。チョムスキー、生まれつきのアイデア、構文の進化、意味論の進化、実用的な進化(実質的に20,000ページのすべてがこれらの2つの新しいアイデアや例と関係がある)、スキーマ理論など、そして彼が「深度文法」を研究する上でチョムスキーをどのように予想したかについて、ここにも、生来のアイデア、進化論についての記事にも何もありません。アンダーディエーションまたはコンビナトリアル爆発の問題、また彼の発見に関する言葉(例えば、RPP Vol.2 p20など)について、ワソンの選択テストで分析された「if p then q」の種類の「グリッチ」の理由の約20年前に説明した。彼は、彼の創立について、彼の最も頻繁に使用される用語の2つ、彼の最も頻繁に使用される用語の2つ、私たちの精神的な生活のエピフェノメトリ性と言語、数学、幾何学、音楽、芸術、ゲームの統一の、行動としての性質の現代的な研究について。Wは、論理的なドメイン一般構造として心を理解しようとするところから、20年代後半に心理的特異なドメイン固有の構造に変更を加えましたが、カーネマンは2002年にノーベル賞を受賞しました。もちろん、行動科学全体で同様の省略と理解の欠如に従うだけなので、EEL2をあまりにも非難することはできません。そして、私はロケットエンジンに関する本の中で古代中国の戦争ロケットに関する情報の欠如について不平を言うかもしれない方法でこれを持ち出すつもりはありませんが、彼の作品はまだ行動科学ダイヤモンドの事実上未開拓の鉱山であり、私のお金のために、私が今まで読んだ中で最も爽快で目を開ける散文のいくつかです。彼が書いたほとんどすべてのものは、哲学や心

理学のクラス、そして法律、数学、文学、行動経済学、歴史、政治、人類学、社会学、そしてもちろん言語学の多くで、補足的なテキストやラボマニュアルとして使用することができます。

これは私たちをピンカーに戻します。

最後の章では、プラトンの洞窟の有名な比喻を使用して、彼は美しく心(言語、思考、意図的心理学)の概要と本を要約します - 盲目の利己主義の産物は、私たちの遺伝子のコピーを運ぶ近親者のための自動利他主義によってわずかにモデレートされた(包括的なフィットネス)-自動的に動作しますが、それにもかかわらず、私たちがその広大な能力を利用して世界を生きるために私たちに希望を与えることによって、アップビートノートに終わろうとします。私はこれを非常に疑う(彼の「私たちの自然のより良い天使」の私のレビューを参照してください)。

ピンカーは確かに知っていますが、私たちの心理学についてはるかに多くが含まれているよりも取り残されているという事実についてはほとんど言いません。取り残されたり、最小限の注意を払われたりする人間性への窓の中には、数学と幾何学、音楽と音、画像、出来事、因果関係があります。オントロジー(物事のクラス)、性質(信じる、思考、判断、意図など)、および行動、神経伝達物質およびエンテオゲン、精神的状態(例えば、サトリと啓蒙、脳刺激および記録、脳損傷および行動の欠陥および障害、ゲームとスポーツ、決定理論(ゲーム理論と行動経済学を含む)、動物行動(非常に遺伝的な言語を含む)、動物の行動(非常に遺伝的な言語を含む)これらの各分野の意図的心理学について、多くの本が書かれています。この本のデータは説明であり、なぜ私たちの脳がこのようにそれを行うのか、どのように行われるのかを示す説明ではありません。文章をさまざまな方法で使用するには、どのように知っていますか(つまり、その意味をすべて知っている)。これは、ヴィトゲンシュタインが最も活発なレベルである、より基本的なレベルで動作する進化心理学です。そして、言語を理解するために重要であり、ヴィトゲンシュタインが主要なパイオニアであった文脈に対する注目は非常に高い。

ここで言及されていない無数の本の中には、数学と音楽「音楽のトポス」の類似性を調査するゲリーノ・マッツォーラの優れたトーム、シュルンの素晴らしい作品は、精神化学物質「フィカル」と「ティカル」で心を探っています。他の多くは、ロット「信念改訂」、ガーデンフォー様々な本、そしてもちろん on論理(哲学論理の20ほどのVolハンドブック)だけでなく、驚くべきDov Gabbayによって編集または書かれた他の多くの(例えば、「時間論理」)などの幾何学的または数学的手段で精神的機能を表そうとします。再空間言語-宇宙の心理学、言語または哲学に関する多数のボリュームの、最近の「空間論理のハンドブック」(特に楽しいのは時空のチャップ11とヴァルジの最後のチャップです)が際立っています。要するに、これらの論理的、幾何学的、数学的な作品は、私たちの生来の公理心理学の延長であり、私たちの考え(モジュール、テンプレート、推論エンジン)の「形」または「形」または「機能」に関する方程式やグラフィックスに示すので、動物の形やおそらくコンピュータの形(ここで何が関連するのかを考える必要があります)。!そしてもちろん、ヴィトゲンシュタインのすべての作品は、in彼が時々最も基本的な言語学的または思考と知覚の哺乳類の前のレベルについて話していることを心に留めておきます。もちろん、AI、ロボットナビゲーション、画像処理に関する多くの本は、私たちの心理を模倣しなければならないので、関連しています。顔認識は私たちの最も印象的な能力の一つであり(甲殻類でさえそれを行うことができますが)、私が知っている最高の最近の作品は「顔認識のハンドブック」です。空間/時間に関する数多くの本のうち、クラインの「言語と時間」やマクルーアの「時間の哲学」から始めることができます。スミスの「言語と時間」、ホーリーの「物事が持続する方法」、サイダーの「四次元主義」、ラドローの「意味論、時制と時間」、デイントンの「時間と空間」と「意識の団結」、ディークの「時空のオントロジー」、サッティの「時間の言語と現実」。しかし、ルパート、・リードが詳述しているように、ここでの言語ゲームはすべて絡み合っており、of 時間の議論のほとんどは絶望的に支離滅裂です。

また、サールや他の人の記事との関連性の多くをカバーする良いが、今日付の本は、ヴァンダーヴェーケンの「論理、思考と行動」です。